

聴こえない身で医療を受ける不安

皆川 明子さん（がんば聾(ろう)チーム代表）



私の乳がんサマリー

- トリプルネガティブ乳がん
- ステージⅢb (リンパ節・皮膚転移あり)

治療の経歴

```

    術前化学療法 (2回入院)
    ↓
    手術 (1ヶ月入院)
    ↓
    放射線療法
    ↓
    化学療法
    
```



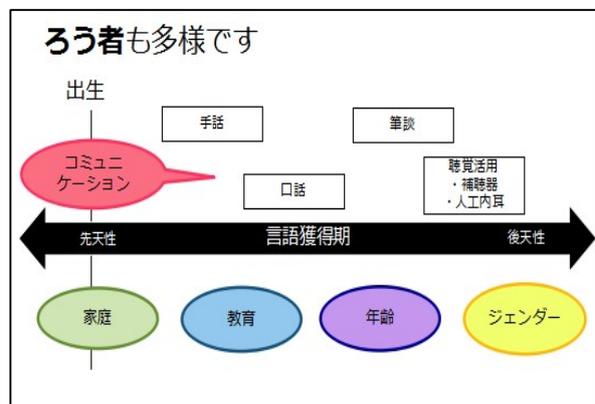
ろう者のことばは手話です

それは日本語とは異なることばです



手話は、手や顔を使って語り、目で聴く言葉です。

(木村, 2004)



ろう者は

病院へ行くのが **こわい** んです

主治医とうまくやっていけるだろうか

治るのかな

診察時間の制限が心配



手話通訳



- 外来 通院
事前に手話通訳派遣の依頼することができた
地元の手話通訳を依頼して、チーム結成してもらった
でも、緊急時は・・・
- 入院
手話通訳の派遣制度には限度がある
担当医や看護師とのコミュニケーションに苦労した

手話通訳者が入れないシーンも多々あります

- エコー室、CT室、MRI室などの検査室
- 手術室
- 入院時 (24時間)
- 緊急時
- など・・・

ろう者にとって、見えないということ

ろう者は人の顔の表情を汲み取ります

また、見ることで多くの情報を得ています

だから **見えない** ということは大きな不安を与えます





**たかが、点滴
されど、点滴**

ろう者は、
手を使って話をします
(手話も筆談もそうです)

9

ろう者にとって入院すること



言葉が違う
知らない国に
飛び込むのと
同じような
ものです

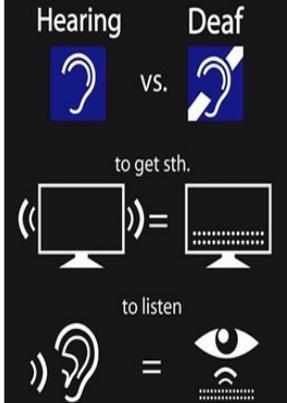
10

筆談

- 紙に書くと時間がかかる・・・
- 要約しがち・・・
- 情報量が少なくなる・・・

- ろう者にとって日本語は第二言語です
- 概念のズレがあることも・・・

Hearing vs. Deaf



ろう者と聴者とは
情報の入り方が
違います

to get sth.
=

to listen
=

なので、
ろう者に入る情報量は
少なくなります



**Audism
聴能主義**

聞こえることが当たり前、
優れているとみなす
→聞こえないことで能力を低く見る
聞こえることへの適応を強いる
(Humphries, T., 1997)

例) 電話でしか申し込みを受け付けない
「後でね」

ろう者にとっての「安心」

- 「手話ができるとわかった時の安心感は大きいです」
- 「見てわかると安心します」
- 「伝えようとしてくれる、分かっていてくれる
(そのための最大限の努力をしてくれる)と安心します」

ろう者が

安心 して通院できる
安心 して治療や検査を受けられる
安心 して入院できる

環境をどう作っていきますか

ろう者のことばは手話です
それは日本語とは異なることばです



手話は、
手や顔を使って語り、
目で**聴く**言葉です。

(木村, 2002)